

Unity Connectionのスペースをクリーンアップするためのボイスメールの削除

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[トラブルシューティング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Unity Connectionで最もスペースを使用しているメールボックスからボイスメールを削除する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

- Cisco Unity Connection (CUC)

使用するコンポーネント

- Cisco Unity Connection(CUC)CLI

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定 (デフォルト) から作業を始めています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

トラブルシューティング

これらの手順は、CUCサーバで「The Current Size of the 'Mailbox Store' has exceeded the Maximum Size.」というエラーが表示される場合に特に重要です。これを解決するには、次の手順を実行します。

1. CUCパブリッシャCLIを開きます。
2. スペースを最も使用しているメールボックスを特定します。

```
run cuc dbquery unitymbxdb1 select first 10 bytesize,description from vw_mailbox order by bytesize desc
```

3. 最大のメールボックスからボイスメールを削除済みとしてマークします。



注：USERIDは、実際のメールボックスユーザ名に置き換えてください。

```
run cuc dbquery unitymbxdb1 update tbl_FolderItem set deleted = 1 where folderobjectid = (select folder
```

それ以外の場合は、特定の日付範囲内で最大のメールボックスからボイスメールを削除済みとしてマークします。



注：USERIDを実際のメールボックスのユーザ名に置き換え、日付を置き換えてください。

```
run cuc dbquery UnityMbxDb1 "update tbl_FolderItem set deleted = '1' where folderobjectid = (select fol
```

4. 最大のメールボックスから、削除済みとマークされたボイスメールを削除します。



注：USERIDは、実際のメールボックスユーザ名に置き換えてください。

```
run cuc dbquery unitymbxdb1 execute procedure csp_FolderPurge (pfolderobjectid = (select folderobjectid
```

5. フォルダ数をリフレッシュします。

```
run cuc dbquery unitymbxdb1 execute procedure csp_FoldersRefreshCounts()
```

クリーンアップするスペースに応じて、これらの手順を必要な回数だけ繰り返します。

ボイスメールが削除されたら、30分待ちます。問題が解決しない場合は、CUCサーバをリブートして、ボイスメールが完全に削除されていることを確認します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。